

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2018年2月号(第113号)

発行責任者 佐藤 重松



時局講演会予告！

メディア論：政治とジャーナリズム

講師：門奈 直樹 立教大学名誉教授（所沢在住）



ところざわ倶楽部第11期の講演会は、市民大学25期の講座(メディア論)で、受講生の皆さんに大変好評だった、門奈直樹立教大学名誉教授にお願いしました。表題の通り「政治とジャーナリズム」についてご講演頂きます。教授は、「メディアは政治を動か

すのか、政治によって動かされているのか。政治とメディアの関係性が問われている時代、現実の政治を読み解く力を育成するジャーナリズムの出現は可能か」と問題を投げかけておられます。現代にあって大変興味深いテーマだと思います。

倶楽部会員の皆さんはもとより、友好団体・一般市民の方々にもぜひご参加頂きたいと思います。

記

日時：4月6日(金) 13時開場 13時30分開演

会場：新所沢公民館ホール(200名収容)

講演題：「メディア論：政治とジャーナリズム」

講師：門奈 直樹 立教大学名誉教授



新会員歓迎「新春の集い」



平成 30 年 1 月 29 日 (月) 航空公園内の「彩翔亭」において「新春の集い」が開催されました。一週間前の大雪が一部残る中庭では、紅梅、白梅がほころび、新春の香りが漂うなか新会員 14 名を含め 72 名の方が参加され大盛況でした。



佐藤会長の挨拶の後、第 1 部では新春にふさわしい箏曲が演奏されました。一曲目は古典箏曲を代表する「六段の調べ」で会員の中西君恵、本橋清子さんが琴を友情出演の水戸幸枝さんが三味線を演奏されました。続いて三人の琴で「さらし風手事」を演奏後は、皆さん一緒に歌いましょうと水戸さんのリードで、「月の沙漠」「春のうたメドレー」「おもちゃのチャチャチャ」を聴衆一同童心に返り熱唱して楽しみました。

第 2 部では富岡落語研究会のメンバー水々亭めだかさんによる「大安売り」。きさらぎ亭きららさ



茶のサービス付きで開催されました。中原総務部長、玉上広報部長の歓迎の挨拶の後、新会員の皆様から自己紹介を兼ねて今後の抱負などが語られました。14 名の新会員のうち 4 名の方は一般会員の方でバラエティーにあふれ今後の活動が期待されます。

旧会員の方々からは所属サークルの活動状況の説明および近々のイベントへの勧誘が主に話されました。民話の会の佐藤さんからは「美しい言葉を使う人の生き方」についてミニ授業あり感銘を受けました。

新しい会員を迎え、ところざわ倶楽部の新たな展開が期待されるひとときでした。



1 月度 理事会 報告

総務部長 中原 幹男

1 月 15 日 (月) 開催

1. 運営方針を協議

歴史散策クラブのところざわ倶楽部内における活動終了の届けがありました。(2017 年 12 月) 理事会として、同クラブの理由(会員の高齢化と役員に成り手不足)を受け止め、各サークルの課題を話しあい、理事のサークル活動参加やサークル間の行事共催などを更に推し進め、サークルとの情報共有を深めていくこととしました。

2. 年間行事計画

1 月 29 日 (月) 「新春の集い」実施済
4 月 6 日 (金) 講演会 新所沢公民館
「政治とジャーナリズム」門奈立教大学名誉教授
6 月 6 日 (水) 文化祭 中央公民館 2 月理事会にて参加申し込み受付
リハーサルは 6 月 5 日 (火) 17:30~21:00

中央公民館

7 月 文芸講座 講師選定中

9 月 第 3 回サークル発表会

参加サークル募集中

11 月 20 日 (火) 定期総会と懇親会

3. 広報部より

「広場」 2 月号 2 月 16 日 (金) 発行
先々の予定を立て原稿要請を早め早めに実施。
HP も広場も女性の投稿を大幅に増やしたい。
“私の健康法” は“みんなの広場”に模様替え。

4. 総務部より

3 月理事会にてサークル活動補助金を拠出予定。

2 月度理事会開催

2018 年 2 月 19 日 (月) 10 時 新所沢東公民館

10 周年記念誌発行事業

10 周年記念事業に思うこと！

民話の会 薄井 文子
脳活サークル



ところざわ倶楽部は設立から 10 年になりました。ふだんの理事会業務の他に、10 周年記念事業が 3 本の柱で実施されました。会長の稲村さん、そして理事の皆さんのご苦労には本当に頭の下がる思いです。傍から見守るだけでしたが、その苦労に不平を言う声は私には少しも聞こえてきませんでした。その事業実施にあたって外からですが感じたことを書いてみます。

3 つの記念事業の 1 つ「生涯学習シンポジウム」。そのパネリストは私には過ぎた役割としましたが、1 つの応援になると思いなおしてお引き受けしました。事業部長の佐藤さんはパネリストの皆さんの意見の方向性を打ち合わせ会で重ねて探り、実りのある会にするために出来得る限りの準備をされました。当日、運営に協力する理事さんの対応も見事なものでした。

シンポジウムを終えて理事会は全力で音楽朗読劇「ハーメルンの笛吹きおとこ」上演にシフトを変えて総力を結集したように察せられました。倶楽部の財政状況から、チケットの販売で費用のすべてを賄うことは会長経験から私には危険過ぎて考えられないことでした。倶楽部は高齢者の集合体です。記念事業は会員の関心に応える企画を考えるべきと思っていました。しかし、私の考えは少しずつ変わりました。笠松先生と古楽器の演奏者のお力、プロの俳優の力、子ども達から引き出したやる気、古楽器の生演奏を後ろ盾に、それはそれは素晴らしい出来栄でした！古楽器の演奏と子ども達からたくさんの元気をもらいました。

そして「10 周年記念誌」を手にして、会員、サークル、絵の得意な方の挿絵、写真、ご挨拶いただいた方々、そして発行に携わった皆さんみんなで作り上げたずっと記念になる大切な人生の 1 ページを残してくださいました。すべてに心からの感謝を申し上げます。

10 周年記念誌発行事業

ところざわ倶楽部の明るい未来！

ドラマティック・カンパニー
岩瀬 真弓



ところざわ倶楽部創立 10 周年記念誌が手元に届き直ぐにページをめくりました。発足に係った方々の熱意、その理念を引き継ぎ 10 年に及ぶ活動を続けてこられた先輩方の歩みが手に取るように分かり

ました。

ところざわ倶楽部には 17 サークルがあり、それぞれが市民大学での学びを生かしながら目的をもって活発に活動している。しかも活動はサークル内にとどまらず地域社会にも貢献している。これは運営している方々は勿論、会員の方たちの学びたい、楽しみたい、人の役に立ちたいとの思いが大きいからだと思います。年齢を重ねても学ぶ気持ちが衰えず、活動している方々と接すると魅力的な方の多い事に気付かされます。これは最近本当に実感していることです。

私は一昨年市民大学を卒業して会員となり、ドラマティック・カンパニーに入会しました。

幸運にも丁度 10 周年記念事業の「ハーメルンの笛吹きおとこ」の公演のお手伝いをする事が出来ました。笠松先生のご指導のもと公演を成功させるべく実行委員会、倶楽部会員の多くの方々の総力の結集で大成功を収めたことを間近で見て、ところざわ倶楽部の明るい未来を感じました。

『ハーメルンの笛吹きおとこ』の公演後



10 周年記念誌発行事業

「ところざわ倶楽部のあゆみ」に触れて

葵の会 坂元 重孝



ところざわ倶楽部 10 周年おめでとうございます。節目の年に在籍できたことをうれしく思います。また 10 周年記念誌である「ところざわ倶楽部のあゆみ」が発行できたことを会員みんなのよろこびとし

たいと思います。読みすすむにつれ創立以来の先輩の奮闘の足跡と苦勞の想いがいきいきと立体的に浮かび上がってくるようです。メンバーの拡大と減少の経緯をみるとまるで日本の縮図のようです。高齢化率の上昇と絶対的人口減少という現代的課題を私達は背負っているといえるのではないのでしょうか。またサークルの連合体である「ところざわ倶楽部」の特色は魅力的であるとともにそれぞれの運営の難しさをのぞかせているように感じました。私

自身は「所沢シニア世代地域デビュー支援の会」と「葵の会」に参加しております。「所沢シニア世代地域デビュー支援の会」は市民大学「地方自治」グループに入ったのが縁で参加いたしました。「葵の会」では高校時代に大きらいだった古文を読みなおしてみようと思ったサークルで、新しい出会いがあり、何とか続けています。廣瀬先生（地方自治）や小川先生（葵の会）とも親しくお話を伺う機会をもち、縁を大切にすることを教えられました。他のサークルの活動にも興味がありますが記念誌により活動内容をイメージできたこともよかったと思います。すべての活動には参加できないですから。さらに 10 年後、私がところざわ倶楽部の一員として貢献できることをめざして筆を置かせていただきます。

10 周年記念誌発行事業

10 周年記念誌を読んで

食を通して所沢を知る会
岡部 まさ子

ところざわ倶楽部 10 周年の歴史が織り込まれた記念誌を有難うございます。写真を多用した誌面を通して、それぞれのサークルが生き生きと活動している様子が窺え、一人ひとりの息遣いが伝わってくるよう

です。

全体の活動が実に幅広く、多岐に渡っている事に改めて気づかされ文化祭やサークル間の交流等、個々のサークルが連携して、有機的に機能している事が読み取れます。私も所属サークル以外の活動に参加させて頂く事がありますが、深い知識や経験、高度なスキル等をお持ちの方々と出会うことが多くあり、人材の豊さに目を瞠る事が度々あります。

10 周年記念行事である「生涯学習シンポジウム」「ハーメルンの笛吹きおとこ」上演、記念誌発行等はそれらの力が結集された賜物ではないでしょうか。そこには、ところざわ倶楽部の理念がし

っかりと生かされた様に思います。

倶楽部の今後について、昨年「広場」11 月号での佐藤初代会長のご指摘は心していく必要がある様に思います。また、これまでも言及されておりますが、高齢化の現実があります。

私自身も日常の中で様々な機能の衰えを感じる事の多くなった日々です。自分の老いと向き合いつつも地域の中でどんなに小さな事でもよいのですが、少しでも役立つ存在でありたいと願っています。

食トコが提案させて頂き、皆様に御協力頂いているフードバンクへの協力もそのような願いの一つです。豊かだといわれ、フードロスの多い社会の現実の中でこの所沢に於いても、今日の食料を待っている方々がいます。

ナチスの収容所での経験がある、ヴィクトール・E・フランクル博士は言っています。「人生に期待するのではなく、人生が自分に何を期待しているのか」という問を自分自身に問いながら、精一杯歩んでいきたいと思っています。

広報部方針

広報部新年度基本方針について

広報部長 玉上 佳彦

新年度を迎えて、広報部としては、ところざわ倶楽部の重要な情報発信媒体である広報紙「広場」とホームページをより充実させていきます。

昨年 11 月の定期総会で報告した通り、広報紙「広場」には、会員全体の 45% を占める女性会員にも投稿していただきやすい企画を図っていきます。

具体的には、

- ・「みんなの広場」：2013 年 2 月号から 54 回続けてきました「私の健康法」シリーズを刷新して、テーマを限定せずに気楽に投稿できる「みんなの広場」を今号からスタートしました。趣味、旅行記、映画、演劇、音楽、書評、ペット、介護、料理、健康法、お勧めのお店などなんでも OK とします。
- ・サークル活動報告：他のサークルの方々にもアピールできるページとして、継続して掲載していきます。サークル自慢やメンバーの紹介、今後の予定などをご投稿下さい。原則として毎月

2 サークルずつ、16 のサークルで順に掲載していきます。尚、掲載順は編集委員会にて設定させていただきます。

- ・特別会員の先生方からの寄稿：2016 年から毎月継続して、特別会員の先生方に、それぞれの専門分野や関心のある内容などについて寄稿をお願いしていましたが、ご多忙の先生も多いので、毎月の掲載はやめて、適宜タイミングをみて寄稿いただくことにしました。

前回の総会時に、編集作業の負担を軽減するために、ページ数の削減や発行回数、ホームページの更新回数の削減のご提案をいただきました。しかしながら、広報部・編集委員会としては、会員の皆様に迅速に情報をお届けするというので、できる限りこれまでの方向を維持していきたいと考えております。そのためには、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

市民大学の今

第 25 期市民大学 2 年次が間もなく開講

第 25 期市民大学企画委員長 川上 紀春



いよいよ市民大学 2 年次が 3 月 1 日(木)に開講します。2 月 22 日(木)が 1 年次の最終講座となりますので、残された講座もあとわずかです。受講生は 1 年次修了パーティの余興について、秘密の特訓を始めているようです。

振り返ってみますと、一昨年 11 月より企画委員として講座の企画に着手、昨年 6 月 8 日に緊張して開講式を迎えてからあっという間でした。

現在、2 年次希望講座の募集中ですが、25 期は「古典芸能(歌舞伎)」「文学(山本周五郎)」「音楽」「地

域の自然」「日本の農業」「超高齢社会の福祉」「所沢の歴史」「住みたいまち所沢」の 8 講座を予定しています。各講座共に 8～10 名でグループワークを行い、中央公民館での発表会を 10 月 11 日(木)・18 日(木)に予定しています。是非、発表会へ先輩の皆様のご参加をお願いいたします。

ところで、高齢者の雇用環境の変化も一因と思われますが、市民大学の受講希望者が年々減少していることが気になります。25 期は、定員 80 名に対し応募者は 100 名でした。受講動機として“友人に勧められて”の比率が高いことから、市民大学未受講のご友人へ受講を勧めただければ幸いです。また、2 年次講座はところざわ倶楽部サークル活動と関連性のあるものあり、受講生との交流ができれば良いなと考えています。

サークル活動報告

所沢シニア世代地域デビュー支援の会 小野 まち子
スマイルパイレーツ

シニア世代のみなさん “いっしょにチアダンスを踊りませんか！！”

地域デビュー支援の会から誕生しましたチアダンスグループ・スマイルパイレーツを紹介させていただきます。



きっかはところざわ倶楽部の文化祭に出演するためでした。立ち上げに際し、会の仲間だけでなく数人に協力してもらい何とか発表することができました。最近ではメンバーも増えて賑やかに練習しています。チアダンスの指導者は、とても若い二人、ホメ上手な言葉に気分と体はヤングになりきり頑張っています。

昨年、4月は桜コンサート、11月は中央公民館祭りに参加、12月に初めて



デイサービス施設も訪問しました。今年も3月は「こどもと福祉の未来館」で、4月は桜コンサート、そして6月はところざわ倶楽部文化祭と続いています。

チアの基本は①笑顔、②背筋を伸ばし前を見ること、です。新曲の振りがすぐには覚えられず苦労しますが、繰り返し練習して踊れるようになること



ことで脳トレになります。さらに音楽に合わせて楽しく踊れるようになると気持ちが若返り、良いことばかりです。これからもずっと続けていきたいと思っています。

ゴー・スマイルパイレーツ!!

地味だが面白い！！

当サークルは、10名弱の会員が自分の関心の高いテーマに関する情報を持ち寄り、広く環境問題を学んでいる真面目で地味なサークルである。市民大学受講中は多くは環境の講座に関心が高く、震災、放射線、異常気象、大気汚染等々などの講座が設けられてきたが、修了してしまうと興味が薄くなり、他人事のようになってしまうのだろうか、学び続ける人が少なくなっている。



スーパーエコタウン見学会

テレコムセンターにてランチタイム

地球環境に学ぶサークル
中島 峯生

我々は、地球環境を自分の問題ととらえ、メンバーの T、K1、N1 はずっとゴミ問題を取り上げ、T、I、O1、N2 は原子力・電力問題を、T、K1、N2 は太陽光発電、K2、O2 は地球温暖化に強い関心を持って情報・課題を提供している。

最近半年の活動として、① 7月8日映画上映会「日本と再生」をとところざわ倶楽部と協賛開催 ② 7月25日講演会「パリ協定と日本の取り組み」を傍聴席と共催 ③ 11月8日見学会「スーパーエコタウン見学会」を北欧の会と共催など、他サークルとの共催に取り組んでいるのが特徴である。

今年度11期は、まず、世界で大きく変わろうとしているエネルギーシフトを、倶楽部内外に紹介し、日本のエネルギー政策が如何に立ち遅れ、間違っているのではないかということをアピールしたい。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会（池田新八郎 2940-0711）

2月16日(金)10:00～12:00 中央公民館
古典講座「枕草子」第6回(最終回) 講師:及川道之先生
13:00～15:00 場所:徳樹庵
懇親会(新入会員歓迎会&及川先生を囲む会)

2. アジア研究会（玉上 佳彦 090-2497-1076）

2月21日(水) 13:30～ 定例会 中央公民館
栗田博行先生による「一常民の対アジア感覚」
3月28日(水) 13:30～ 中央公民館
テーマ未定

3. 活いきシニア福祉の会(川上 紀春 090-5573-2548)

2月28日(水)10:00～15:00 川越神社仏閣巡り
終了後 今年度活動計画相談・昼食会
3月28日(水)10:00～12:00 定例会
福祉関連勉強会を予定

4. 楽悠クラブ（福田 晴男 事前連絡は不要です）

2月13日(火):ウェーバー・歌劇「魔弾の射手」1985
ハウシルト指揮ドレスデン国立歌劇場管弦楽団&合唱団
3月13日(火):音楽映画「仮面の中のアリア」
いずれも 13:15～ 中央公民館3階 8・9学習室

5. 食を通して所沢を知る会(園田 ヒロ子 090-4005-1882)

3月6日(火) 9:00 所沢駅集合
定例会 三崎港の本場のマグロを食す
4月4日(水) 定例会
福生市石川酒造見学

6. 地域の自然を考える会（岩本 賢次 2923-9324）

2月27日(火) トロ12号地 生保全整備作業
10:00～12:00(現地集合)、倒木・落枝の処理・整理、
残渣置場の整理、間伐など。参加希望者 → 大歓迎。作業
服装で。「1月例会は雪で中止。3月は27日(火)の予定」

7. 地球環境に学ぶ（中島 峯生 2928-1161）

2月20日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 定例会
講演会「モンゴルで環境問題を考える」の感想、NHKドキュ
メンタリーの感想、映画「武蔵野」鑑賞打合せ、持ち寄り学習
3月20日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 定例会

8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会(田口 元也 090-9820-5668)

2月28日(水)～3月2日(金)10:00～16:00
所沢市役所1階市民ホール 所沢市民活動見本市
3月3日(土)10:30～15:00 こどもと福祉の未来館
地域福祉みらいフォーラム チアダンス(SP)実演参加

9. 所沢の自然と農業（清水 仁一 2944-8835）

2月27日(火) 10:00～13:00 カルチャパーク清掃体験会
3月8日(木) 13:00～15:00 新所沢公民館 定例会
3月17日(土) 10:00～映画「武蔵野」鑑賞&三芳町散策
4月12日(木) 野山北・六道山公園 花見&ハイキング

10. 野老澤の歴史をたのしむ会（小川雅愛 2907-9476）

2月24日(土) 13:15～15:00 中央公民館 歴史講座
「幕末期の所沢商人」、15:10～16:30 活動計画審議
3月1日(木) 中央公民館 第24期GW発表会等
3月15日(木) 観光コンシェル「航空公園と旧飛行場案内」

11. ドラマティック・カンパニー（柳澤千賀子 2968-5035）

2月24日(土) 中央公民館 10:00～12:00
3月3日(土) 中央公民館 10:00～12:00
3月17日(土) 中央公民館 10:00～12:00
「ハムレット」を読みます。

12. 懐かしの映画・鑑賞会（二上 拓夫 080-1250-6151）

2月13日(火)10:00～12:30 西新井町公民館
洋画「未知との遭遇」(77年) リチャード・ドレイフ
2月27日(火)10:00～12:30 西新井町公民館
邦画「60歳のラブレター」(09年) 中村雅俊・原田

13. 脳活サークル（加曾利厚雄 2939-2308）

2月19日(月)13:30～ こどもと福祉の未来館 3F4号
2月定例会
NPO 法人 《ミニケアホーム きみさんち を語る》
講師・志寒浩二氏 少規模なグループホームと近隣住民

14. 北欧の会（樋口 俊夫 090-6483-7993）

3月6日(火) 10時～12時頃 新所沢東公民館
第83回例会 持ち寄り学習 他
4月3日(火) 14時～16時頃 新所沢東公民館
第84回例会 持ち寄り学習 他

15. 傍聴席（石堂 智士 2947-0835）

2月19日(月)14:00～16:30 新所沢東公民館 学習会
テーマ「会員フォーラム」と今期計画検討(前月続き)
村瀬氏ほか、大雪と予定変更のため今期計画の検討も
次月予定3月19日(月)「会員フォーラム続き」未定

16. 民話の会（仲山 富夫 090-3902-0283）

2月16日(金)13:00～15:00 こどもと福祉の未来館 定例会
3月16日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館 定例会
3月予定 ひばり児童館「所沢の民話お話し会」
老人ホームにて、「民話の会」

広報部

2月16日(金)9:30～15:00頃 生涯学習推進センター
「広場」2月号編集会議・発行日
3月9日(金)9:30～15:00頃 生涯学習推進センター
「広場」3月号編集会議・発行日

事業部

6月6日(水)9:00～17:00 中央公民館
文化祭(展示・舞台)
多数サークルの参加をお願いします！

みんなの広場 第1回

葵の会 平野 幸子

清少納言はうどんを食べていたか！
～うどん打ちをして～

古事記では神代の巻で殺されたオホゲツ姫神の死体の股の間に麦ができた」と記述してある。この頃の麦の食べ方は庶民だと粒食だった。奈良時代、小麦粉は貴重品で貴族や僧侶などの上流階級のおやつ（点心）として食べられていた。唐菓子も点心の一つだった。唐菓子の一つの餛飩（こんとん）が後にうどんとなり饅頭となった。平安時代の清少納言も書物を書く合間に餛飩を食べたかも知れない。室町時代には味噌、醤油が出来て、今のうどんの食べ方となった。

いきがい大学のグループの皆様と手打ちうどんを食べ歩き、実際に手打ちうどんを作った。食べ歩きではどのような物が手打ちうどんとして美味しいのかレポートしていった。

私が所沢に越してきた30年前は陸稲や麦が植えられていた。しかし所沢ではもう首都圏のベッドタウンとなり麦畑はなくなった。以前は多くの客や家族の集まりの時はうどん打ちをして食べていた。客との絆や家族との絆をつなぐ時だった。今は核家族となり各家庭ではほとんどみられない。シニアが意図的に手打ちうどんを各家庭に残さないと、うどん打ちの楽しみは伝わらない。私もこの風習を残したく、皆様と手打ちうどんに取り組んでいった。



むさし野俳句会（三十年一月）作品抄



やすやすと用足るメール枇杷の花	高橋三加子	去年今年畑に忘れし猫車	井出 昇
あかあかと厨へ迫る初日の出	高 光 泉	紫の稜線映ゆる初御空	海老澤愛之助
初夢の句会の席に臨む吾	利根川啓一	マネキンの足元飾り福寿草	粕谷のぼる
羽衣のごとくに煙り寒の灸	中 嶋 弘	初氷風の足跡ありにけり	河 瀬 俊彦
冬休み自転車並ぶ文具店	中 村 直子	初夢や生れ変はれど妻同じ	小 林 貞夫
初夢は根岸の庵でまず一句	橋 本 佑子	ゆつくりと粥食むひとり女正月	小 林 典子
田作の曲り程よき祝膳	平 栗 彰子	裸木や待ちたる人の見舞ひあり	佐 藤 八郎
日溜りの土盛り福寿草	宮 本 信生	古里の駅に今年も福寿草	白 神 恵
初夢や妣が厨に立ちてをり	荒幡千鶴子	白杖の人に肩貸す冬の雨	高 梨 千代
風呂吹きや大海原に白き舟	飯 泉 陽子	金色は太陽のいろ福寿草	鈴 木 征子

《編集後記》

▲ 初めて参加した編集会議は丁寧な校正、編集、印刷、発送の作業でした。会議までも原稿のお願いやメールでの校正作業の連続です。この様な地道な仕事を毎月行っている広報部の方達に頭が下がる思いと同時に、原稿を書いて下さる皆さんへの感謝、何気なく読んでいた広報の重みを感じた瞬間でした。今年度はたくさんの女性会員に執筆して頂こうと新企画が始まります。皆さんの寄稿をお待ちしています。私も企画、編集に頑張りたいと思います。 ▲ 今年はいわさきちひろ生誕100年。私はちひろの絵が大好きです。柔らかな色合いと何といっても子供たちの可愛さ！ちひろの優しさと温かさがたくさん伝わってきます。ちひろの絵本には鋭い目を向ける子供たちの姿もあります。「戦火の中の子供たち」。ちひろが求め続けたのは平和な世界。世界中の子供たちが平和で幸せになる事を願い続けてきました。皆さん、この機会にちひろの世界に触れてみませんか？

(方山 記)

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)

川柳「二八」作品発表 中島峯生選
課題「改札口」

改札の流れせき止めチャージ切れ
ときめいて待った改札思い出す
縁日の楽しみ集う巣鴨駅
待ち合わせ改札口にたむろする
爺と婆改札入り孫を抱く
上野駅改札の先もうわが家
切ないね改札口でまた明日

『自由句』

ランチあり息つく店内ママの花
食っちゃ寝に飲むが加わる三が日
食べ残しもつたないでいまメタボ
ろうそくを吹き消す妻の苦労働
蠟梅は早さと匂い妃級

次回（第29回） 課題「良い」又「自由句」、
締切り日：2月25日、担当中島まで

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp

FAX04-2928-1161